

## 平成27年度 海上の森保全活用事業の取組状況

「あいち海上の森条例」（平成18年4月1日施行）に基づき、海上の森を愛知万博の理念や成果を継承する「愛知万博記念の森」と位置付け、将来にわたり保全活用するとともに、県民参加のもとに森林や里山に関する学習と交流の拠点として、里山保全活動、森林環境教育を始め、情報発信や人材育成などの幅広い取り組みを展開しました。

### ■主な取組

#### 1 愛知万博記念の森としての保全のための事業

事業項目		取組状況
里山保全事業	耕地管理	農地（体験学習プログラム「里と森の教室」で使用）の適切な維持管理のため、委託業務を実施 0.746ha
森林の維持管理事業	林道等維持管理工事	森林の適切な管理や活動のために利用する林道、歩道等の維持管理工事を実施 （路盤工 875m、路面排水工 87m、路側浚渫工 165m、木製階段工 123 段、転落防止柵 55m、作業地整備工 218m <sup>2</sup> ）
	巡視の励行	散策者の安全確保等のため、落枝除去・歩道等の点検と巡視
事業用地維持費	事業用地の適正な管理を図るため、枯損木等の危険木伐採、草刈等を実施（境界伐開 768 m <sup>2</sup> ）	
遊歩施設整備	窯の歴史館改修工事	窯の歴史館に庇を設置し、雨天時等の来訪者の安全の確保及び、建物の劣化を抑制
	物見の丘展望台安全診断	木造展望台の安全診断を実施 結果：人数制限要（12 名）、補修要、荒天時使用禁止
	海上の森自然歩道環境改善事業	危険木、生育不良木等の伐採による環境改善を実施 伐倒 60 本、草刈 1.3ha
自然環境調査事業	外来生物生息状況調査	海上の森の多様性の保全と、外来種による在来種への影響を防止するため、外来種の生息・生育状況を調査
	鳥類生息状況調査	里山環境が適正に維持されているかを把握するための鳥類の調査
	希少動物の生息状況調査	ムササビ及びホトケドジョウが生育する里山環境を維持保全するための基礎とするため、生息状況を調査
	猛禽類の生息状況調査	里山環境を維持保全するための基礎とするため、オオタカ・ハチクマ等の生息状況を調査
	調査報告書	調査結果を海上の森調査報告第5号としてとりまとめ

## 2 森林や里山に関する学習と交流のための事業

### (1) 体験学習・多様な主体との連携

事業項目	取組状況					
	行事名等	定員 (延べ)	参加数 (延べ)	参加率 (%)		
体験学習の実施 (体験学習プログラム)	里と森の教室	田植え、野菜づくり等	10回セット	50	67	134
	調査学習会	初夏の海上の森(花、虫、鳥)		30	45	150
		海上の森のキノコ		50	38	76
		海上の森の水生生物		30	32	106
		計		100	115	115
	森の楽校	遊歩施設・幼児体験フィールドを活用した森林環境教育(2回)		180	180	100
海上の森体験ツアー	愛知万博10周年記念事業で、海上の森を観察しマップを作成(3回)		150	72	48	
	計			480	434	90
多様な主体の参加の促進	県民や県民参加組織との連携	海上の森の会との連携 サポーター制度 39名の登録				
	企業との連携	27年度活動した企業7社 ナゴヤキャッスル、豊田自動織機、トーマツ、 小林クリエイト、伊藤園、カルビー、CKD 森林整備面積: 3.49ha				
	全国の里山保全活動や施設との連携	あいち自然環境団体・施設連絡協議会(あいち自然ネット)との情報交換(6回)				
	大学・小中学校・官庁・市民団体等との連携	<p>&lt;講義・実習&gt; 名古屋大学、南山大学、愛知工業大学、放送大学</p> <p>&lt;環境教育&gt; 瀬戸市、瀬戸青年会議所、日本森林林業振興会、リニモツアーズ、萩山小学校、幡山東小学校、南山大学附属小学校、はちまん幼稚園、真貴幼稚園他</p> <p>&lt;調査&gt; 海上の森モニタリングサイト1000調査、森林総合研究所、名古屋大学、南山大学、愛知工業大学</p>				



里と森の教室(田植え)



調査学習会  
(海上の森のキノコ)



森の楽校

## (2) 人材育成

事業	項目	内容
人と自然の共生 国際フォーラム	テーマ	自然と共に歩む明日をつくろう
	実施日	平成 27 年 10 月 3 日 (土) ・ 24 日 (土)
	場 所	パルティ瀬戸 (10/3) 愛・地球博記念公園内 地球市民交流センター(10/24)
	プログラム	10 月 3 日 ・活動発表会 ・グループディスカッション 10 月 24 日 ・開催の式典 ・特別講演 ・パネルディスカッション ・フォーラム宣言
	講演者等	○特別講演：C. W. ニコル ○パネルディスカッション コーディネーター：川井秀一氏 コメンテーター：マリ クリスティーヌ氏 アドバイザー：田中隆文氏 パネリスト：浦井巧氏、印南敏秀氏、水野翔太氏
	運 営	※人と自然の共生国際フォーラム実行委員会を組織して 実施 委員会 2 回開催、委員長：森岡副知事
	参加者数	780 名
あいち 海上の森大学	実施期間	平成 27 年 7 月～平成 27 年 12 月 7/11 開校式、12/19 閉校式
	講 座	森林再生コース、企業活動コース、国際交流コース
	場 所	あいち海上の森センター研修室・海上の森
	運 営	学 長 マリ クリスティーヌ氏 副学長 稲垣元副知事 ※ 大学運営委員会で内容検討 2 回開催
	修了者数/ 受講者数	森林再生コース 17 人/23 人、企業活動コース 15 人/15 人 (うち 14 人が両コース重複受講) 国際交流コース 0 人/0 人



人と自然の共生国際フォーラム  
(特別講演)



あいち海上の森大学  
(閉校式)

### 3 海上の森の取組や成果の普及・情報発信

事業項目	取組状況
学習プログラムの作成・提供	学習教材「自然観察ガイドブック」を有償頒布
自然環境情報等の収集整理・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海上の森の自然環境情報の収集・展示</li> <li>・インターネット情報発信 書籍の購入</li> <li>・「ムーアカデミー通信」の発行 3回</li> <li>・「海上の森調査報告書第5号」の発刊</li> </ul>

### 4 センターの整備と運営

事業項目	取組状況
センターの管理・運営	<p>施設修繕、清掃・警備、施設管理・点検、機器リース、廃棄物処理、企画調整、樹木管理など</p> <p>○施設利用者数（平成28年2月末現在）          あいち海上の森センター 11,877人（累計 208,607人）          有料施設利用件数          工作室 5件 研修室 3件          幼児森林体験フィールド          H27実績：12回、819人          オープン時の公開講座（20.3.20）から28年2月末まで          延べ115回 8,870人</p> <p>○スタンプラリーの実施（H19.10.20から参加者1,422人）</p>
海上の森運営協議会	<p>2回（平成27年8月27日、平成28年3月23日）開催</p> <p>○平成27年度海上の森保全活用事業の取組          ○平成28年度海上の森保全活用事業の事業計画          ○第2次海上の森保全活用計画策定について 等</p>
第2次海上の森保全活用計画策定検討委員会	<p>3回（平成27年7月22日、平成27年9月30日、平成28年1月29日）開催</p> <p>○第2次海上の森保全活用計画（案）について</p>